

2020年7月10日作成

国立病院機構高知病院において

鏡視下肩腱板修復術を受けられた患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。

○研究課題名：鏡視下肩腱板修復術術後の臨床成績と画像所見の検討

○研究責任者：福田昇司(国立病院機構高知病院副院長)

○本研究の目的：術前、術後の画像所見および臨床所見を詳細に調査し、再断裂や臨床成績不良の要因を検討します。

○研究の方法：後向きコホート研究。年齢、性別、BMI、職業、スポーツ歴、発症の原因(外傷か非外傷か)、罹病期間を電子カルテから調査。臨床成績については術前、術後3、6、12カ月、最終時の自他動可動域、日本整形外科学会肩関節疾患治療判定基準(JOAスコア)、UCLAスコア、American Society of Shoulder and Elbowスコア、患者立脚評価として術前、術後1年のSimple Shoulder Test、Shoulder 36を調査する。画像所見は術前のMRI、CTから骨性形態、断裂の部位、大きさ、断端の引き込み、筋萎縮や脂肪変性の程度、また術後CT、MRIから修復の有無、筋萎縮や脂肪変性の程度の変化を調べ、これらの相関について統計ソフトSSPSにより統計学的に検討し、今後の手術方法改善を図る。

○研究期間：2016年4月から2022年5月まで

○調査対象期間：2016年4月から2020年5月まで

○研究対象者：当院にて鏡視下肩腱板修復術を施行した症例

○試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法：他の機関への試料・情報の提供はしません。

○個人情報の取り扱い：高知病院の電子カルテ上のデータをエクセルファイルで保管する。電子カルテから抽出するデータは年齢、性別、BMI、職業、スポーツ歴、発症の原因(外傷か非外傷か)、罹病期間であり、個人を特定する生年月日、住所、電話番号等は使用しません。

○本研究の資金源(利益相反)：本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業はありません。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

○お問い合わせ先

国立病院機構高知病院 副院長 福田 昇司

088-844-3111(代表)